

福井に新たな産地（王国）づくり!!



AZU-KING

No.5

大納言小豆産地を目指して!!

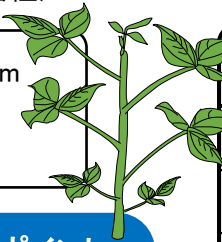
J A 福井県
福井基幹支店
大納言小豆部会

管内の大納言小豆の生育状況は、一部で大雨や多雨による湿害(発芽不良・立枯れ)の被害が見られましたが、その他は概ね順調です。多雨により土壌水分が高いことで、イネ科雑草(ヒエ)が散見される圃場があります。除草剤散布と小豆の生育や害虫の発生に応じた栽培管理を行いましょ。

①生育状況(7月中旬播種)

②今後の栽培管理

- 苗立ち本数:11本/m
- 草丈:41cm
- 葉令:8葉



栽培管理	8月	9月	
	下旬	上旬	中旬
雑草対策	除草剤散布		
基幹防除	防除1回目	防除2回目	
その他	排水対策	追肥	● 生育不足 ● 花芽の充実

大納言小豆の栽培ポイント

1. 雑草管理

多雨により、雑草の生育が旺盛になっています。早めの除草剤散布を行いましょ。

雑草区分	除草剤名	使用量(使用回数)	雑草生育期
イネ科雑草(ヒエ)	ホルトフロアブル	200~300mℓ/10a(1回)	イネ科雑草(3~8葉期) 収穫50日前まで

2. 基幹防除:アズキノメイガ・ヨトウムシ

現在、ヨトウムシの食害(表皮を残して食害)が見られます。また、例年、8月下旬~9月中旬に『アズキノメイガ』が発生します。発生に注意して2~3回の防除を行いましょ。

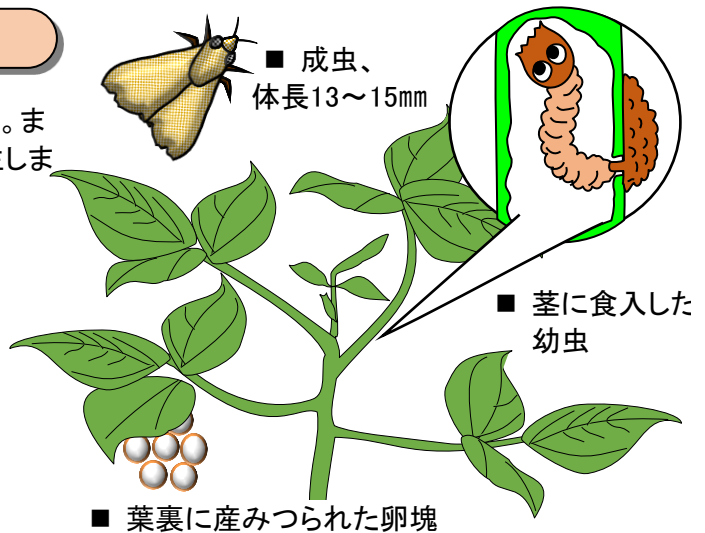
〈被害のようす〉

幼虫が茎に食入して、食入部分から上を枯死させる。また、食入部分が風などで折れる。幼虫が食入すると茎に虫糞が出ており、そこから上部が萎れる。

- 散布初回の適期は、開花前の8月下旬~9月上旬です。適期をのがさずに葉の裏側まで薬剤がかかるように散布しましょ。

- 防除薬剤
アズキノメイガ
ヨトウムシ

農薬名	希釈倍数	使用量(10a)	使用時期	使用回数
カスケード乳剤	4000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内
フェニックス顆粒水和剤	2000~6000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内



3. 追肥

追肥の目安、小豆の生育が小さい。草丈20cm未満場合は開花初期までに肥料を散布する。

粒状 : アグリフラッシュ444 20kg/10a

液肥 : 花吹雪 1000倍(花芽の充実、莢付きに効果あり)

- 朝露がなくなってから施肥する
- 降雨前や中耕前の散布が効果的
- 葉面散布(殺虫剤:カスケード乳剤・フェニックス顆粒水和剤との混用可能)

適期防除で収量・品質アップを目指しましょ。今回の『AZU-KING』は南部支店が担当しました。